



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. システム要件
 - 3.1. intra-mart Accel Platform
 - 3.2. 検証済み環境
 - 3.2.1. サーバ環境
 - 3.2.2. クライアント環境
- 4. セットアップ (Box)
 - 4.1. 管理・開発コンソールでの設定
 - 4.2. BoxユーザIDの確認
- 5. セットアップ (intra-mart)
 - 5.1. モジュールの追加
 - 5.2. 設定ファイルのアップロード
 - 5.3. BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング
 - 5.4. BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ
 - 5.4.1. セットアップ方法
 - 5.4.2. ジョブ実行方法
- 6. Box連携 IM-LogicDesignerタスク
 - 6.1. 概要
 - 6.2. 各タスクの説明
 - 6.2.1. ユーザ切り替えタスク
 - 6.2.1.1. 入力値
 - 6.2.1.2. 出力値
 - 6.2.2. Boxストレージ取得タスク
 - 6.2.2.1. 入力値
 - 6.2.2.2. 出力値
 - 6.2.3. ファイルをロックタスク
 - 6.2.3.1. 入力値
 - 6.2.3.2. 出力値
 - 6.2.4. ファイルをアンロックタスク
 - 6.2.4.1. 入力値
 - 6.2.4.2. 出力値
 - 6.2.5. メタデータ取得タスク
 - 6.2.5.1. 入力値
 - 6.2.5.2. 出力値
 - 6.2.6. メタデータ作成タスク
 - 6.2.6.1. 入力値
 - 6.2.6.2. 出力値
 - 6.2.7. メタデータ更新タスク
 - 6.2.7.1. 入力値
 - 6.2.7.2. 出力値
 - 6.2.8. メタデータ削除タスク
 - 6.2.8.1. 入力値
 - 6.2.8.2. 出力値
 - 6.2.9. 共有リンク取得タスク
 - 6.2.9.1. 入力値
 - 6.2.9.2. 出力値
 - 6.2.10. 共有リンク作成タスク
 - 6.2.10.1. 入力値
 - 6.2.10.2. 出力値
 - 6.2.11. 共有リンク削除タスク
 - 6.2.11.1. 入力値
 - 6.2.11.2. 出力値

- 6.2.12. ファイルリクエスト取得タスク
 - 6.2.12.1. 入力値
 - 6.2.12.2. 出力値
- 6.2.13. ファイルリクエストコピータスク
 - 6.2.13.1. 入力値
 - 6.2.13.2. 出力値
- 6.2.14. ファイルリクエスト更新タスク
 - 6.2.14.1. 入力値
 - 6.2.14.2. 出力値
- 6.2.15. ファイルリクエスト削除タスク
 - 6.2.15.1. 入力値
 - 6.2.15.2. 出力値
- 7. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2021-12-01	初版
2022-06-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ■ 「メタデータ取得タスク」に templateName, scopeパラメータを追加。 ■ 「メタデータ作成タスク」に templateName, scopeパラメータを追加。 ■ 「メタデータ更新タスク」に templateName, scopeパラメータを追加。 ■ 「メタデータ削除タスク」に templateName, scopeパラメータを追加。 ■ 「ファイルをロックタスク」に expiresAt, isDownloadPreventedパラメータを追加。 ■ 「システム要件」の検証済み環境の制限を撤廃。
2022-08-31	第3版 下記を追加・変更しました。 ■ 「共有リンク作成タスク」にて、一部パラメータが無効となる場合の説明を追加。 ■ 「セットアップ (Box)」のカスタムアプリの設定手順の説明を変更。
2022-12-01	第4版 下記を追加しました。 ■ 「セットアップ (intra-mart)」にて、intra-mart Accel Platform ユーザとBoxユーザIDの一括マッピングジョブに関する説明を追加。

はじめに

本書は Box と intra-mart Accel Platform を連携するためのモジュールについて記載しています。

Box連携 は以下の機能を提供します。

- Box連携 IM-LogicDesignerタスク
- Box連携 設定ファイルアップロード画面

IM-LogicDesignerタスクをロジックフローに配置することで、Box上のファイルの操作を実現できます。

Box連携 を利用するには、事前にBoxの管理コンソールにて intra-mart Accel Platform をカスタムアプリとして登録する必要があります。

Box連携 は、Box開発コンソールからダウンロードした接続設定ファイルを利用して、Boxへの接続の認証を行います。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

項目

- [intra-mart Accel Platform](#)
- [検証済み環境](#)

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) 以降のご利用のバージョン に準じます。

検証済み環境

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Winter(Dandelion) の検証済みクライアント環境に準じます。

項目

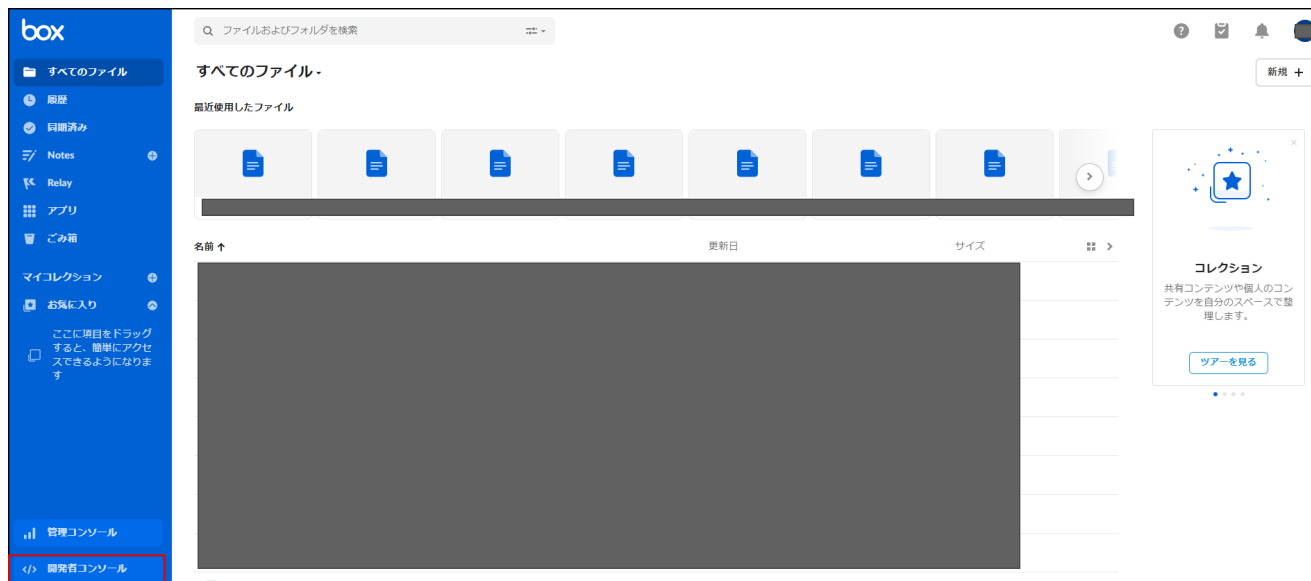
- 管理・開発コンソールでの設定
- BoxユーザIDの確認

ここでは Box連携 のインストールと設定手順のうち、Box管理者が行う事項について説明します。
設定は、Box の管理コンソール画面、および、開発コンソール画面にて行います。

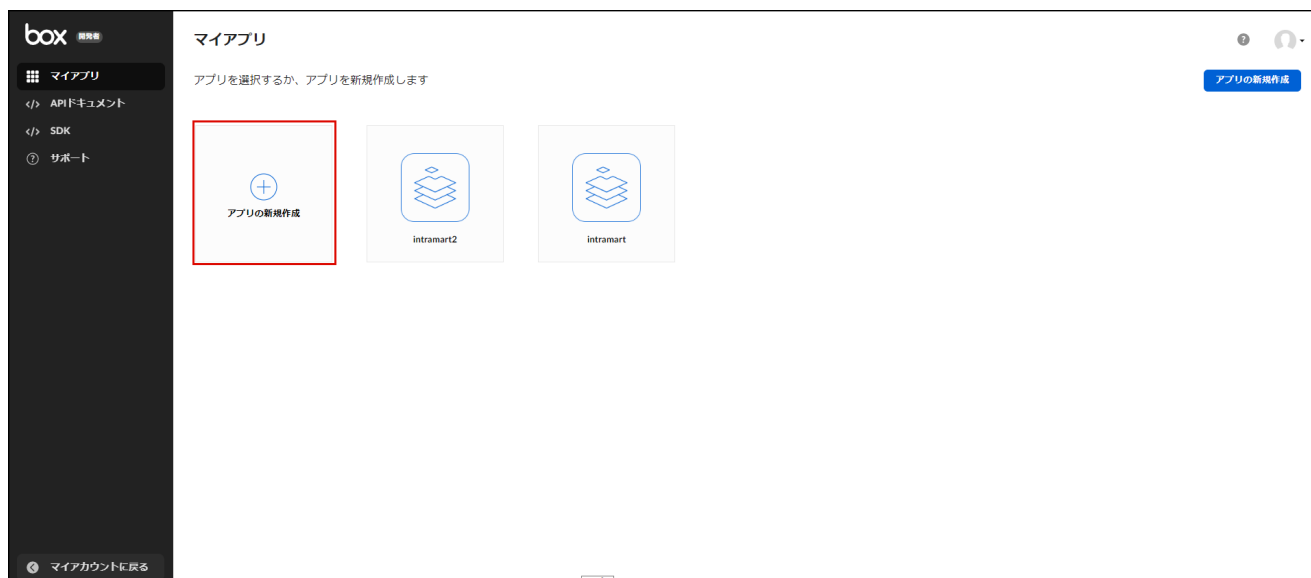
管理・開発コンソールでの設定

intra-mart Accel Platform から Box に接続をするためには、Box に管理者としてログインし、以下の設定を行う必要があります。

1. Box に管理者としてログインし、左メニュー下部の「開発者コンソール」をクリックします。



2. 「アプリの新規作成」をクリックします。



3. 「カスタムアプリ」を選択します。



4. 認証方式として「サーバー認証 (JWT使用)」を選択し、「アプリ名」に任意のアプリケーション名を入力し、「アプリの作成」ボタンをクリックします。



5. 「アプリアクセスレベル」として「アプリ+Enterpriseアクセス」を選択します。



6. 「アプリケーションスコープ」として、以下の2つが選択されていることを確認します。

- Boxに格納されているすべてのファイルとフォルダへの書き込み
- ユーザを管理する



7. 「高度な機能」として「as-userヘッダーを使用してAPI呼び出しを行う」を選択します。
その後、「変更を保存」ボタンをクリックします。



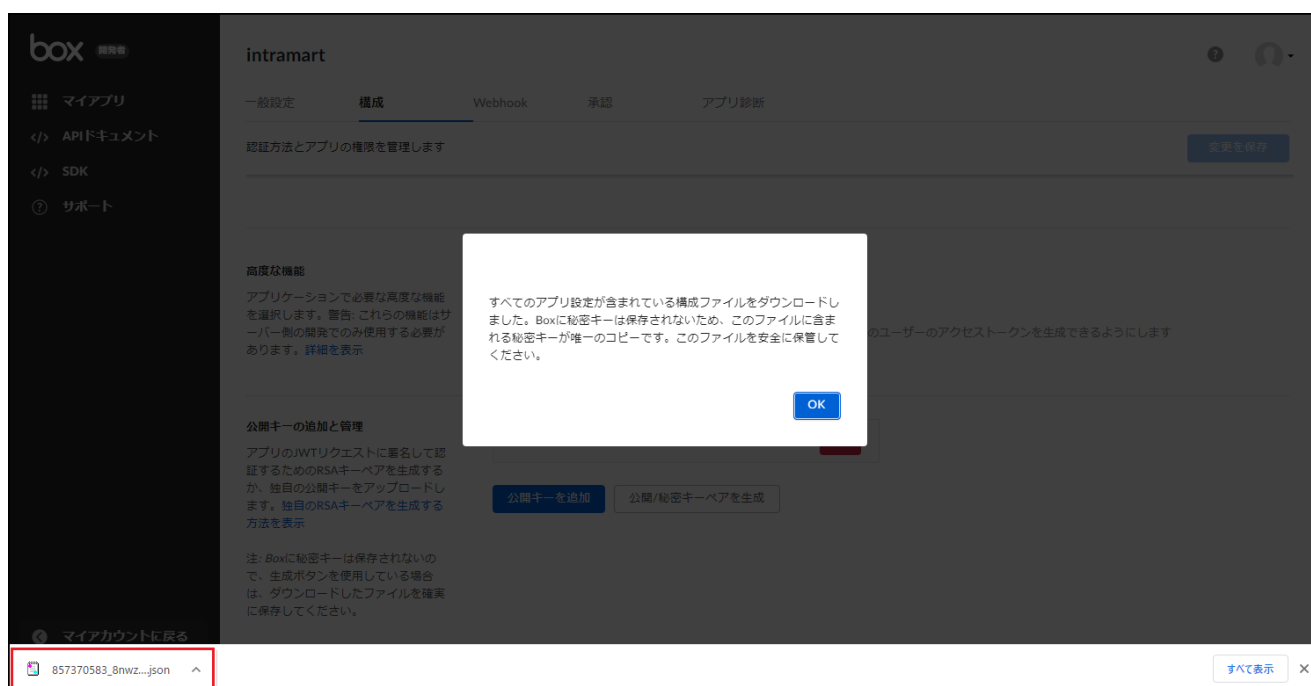
8. 「公開キーの追加と管理」にて、「公開/秘密キーペアを生成」ボタンをクリックします。



9. もしも画像のようなエラーが表示された場合は、この管理者アカウントに対して2段階認証の設定を有効にしてください。



10. <config.json>ファイルがダウンロードされます。このファイルは後ほど使用しますので、保存してください。



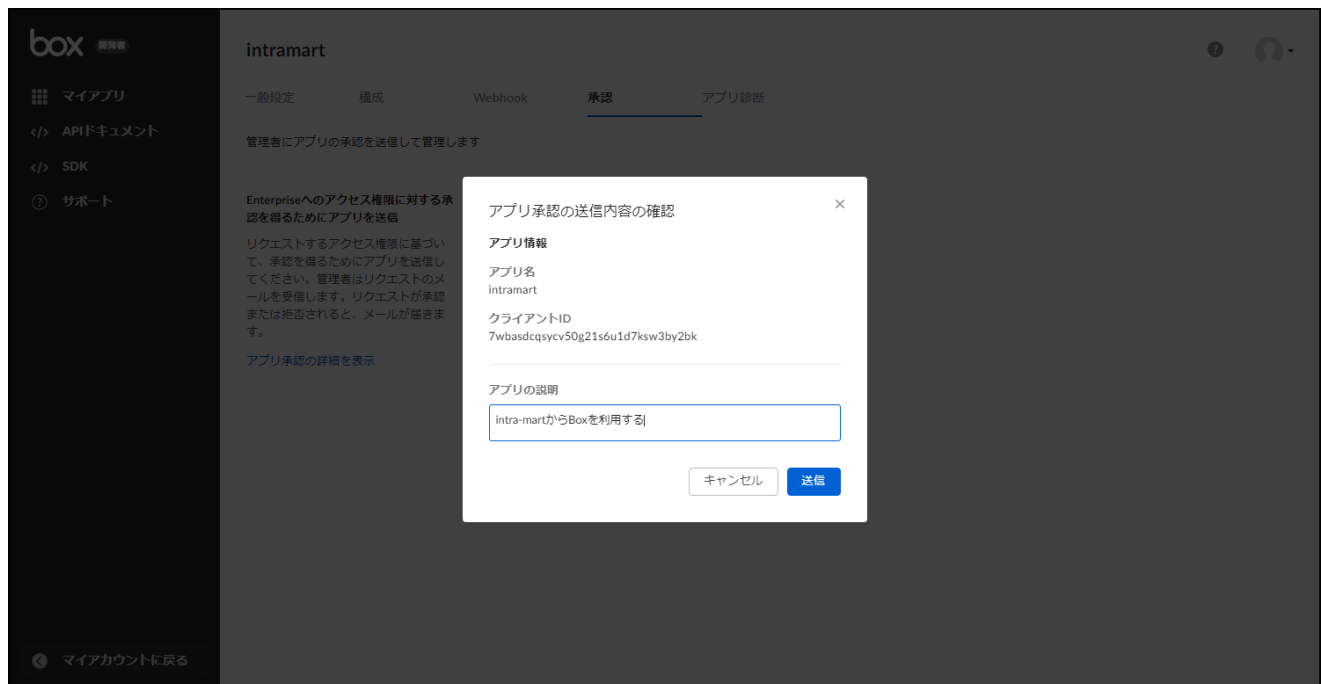
コラム

「アプリ設定」の「JSONとしてダウンロード」ボタンをクリックしても<config.json>ファイルがダウンロードされますが、このファイルには認証キー情報が含まれていません。
必ず「公開/秘密キーペアを生成」ボタンをクリックして<config.json>ファイルをダウンロードしてください。

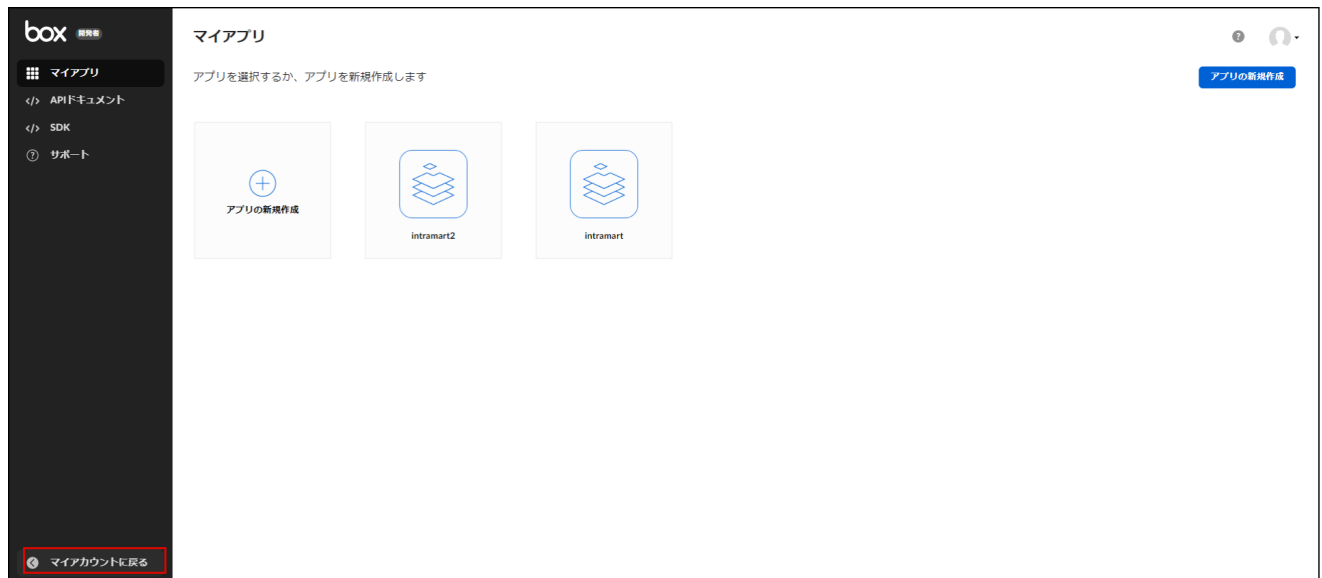
11. 「承認」タブをクリックし、「確認して送信」ボタンをクリックします。



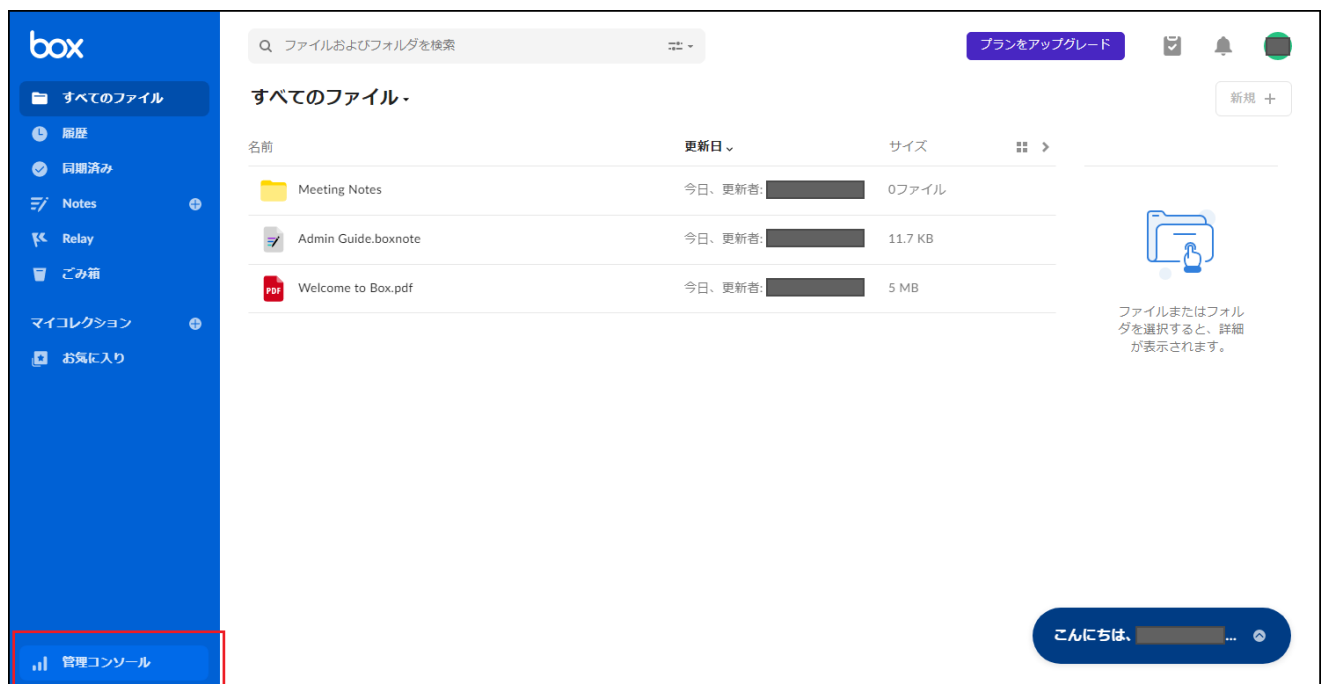
12. 「アプリの説明」に任意の説明を入力し、「送信」ボタンをクリックします。



13. 「マイアカウントに戻る」をクリックし、ログイン直後の画面に戻ります。



14. 管理コンソールを開き、「カスタムアプリ」画面を開きます。



15. 管理コンソールメニューの「アプリ」をクリックします。



16. 「カスタムアプリ」タブをクリックします。



17. 手順12.で送信したアプリが一覧に表示されているので、「・・・」ボタンをクリックし、「アプリを承認」をクリックします。



BoxユーザIDの確認

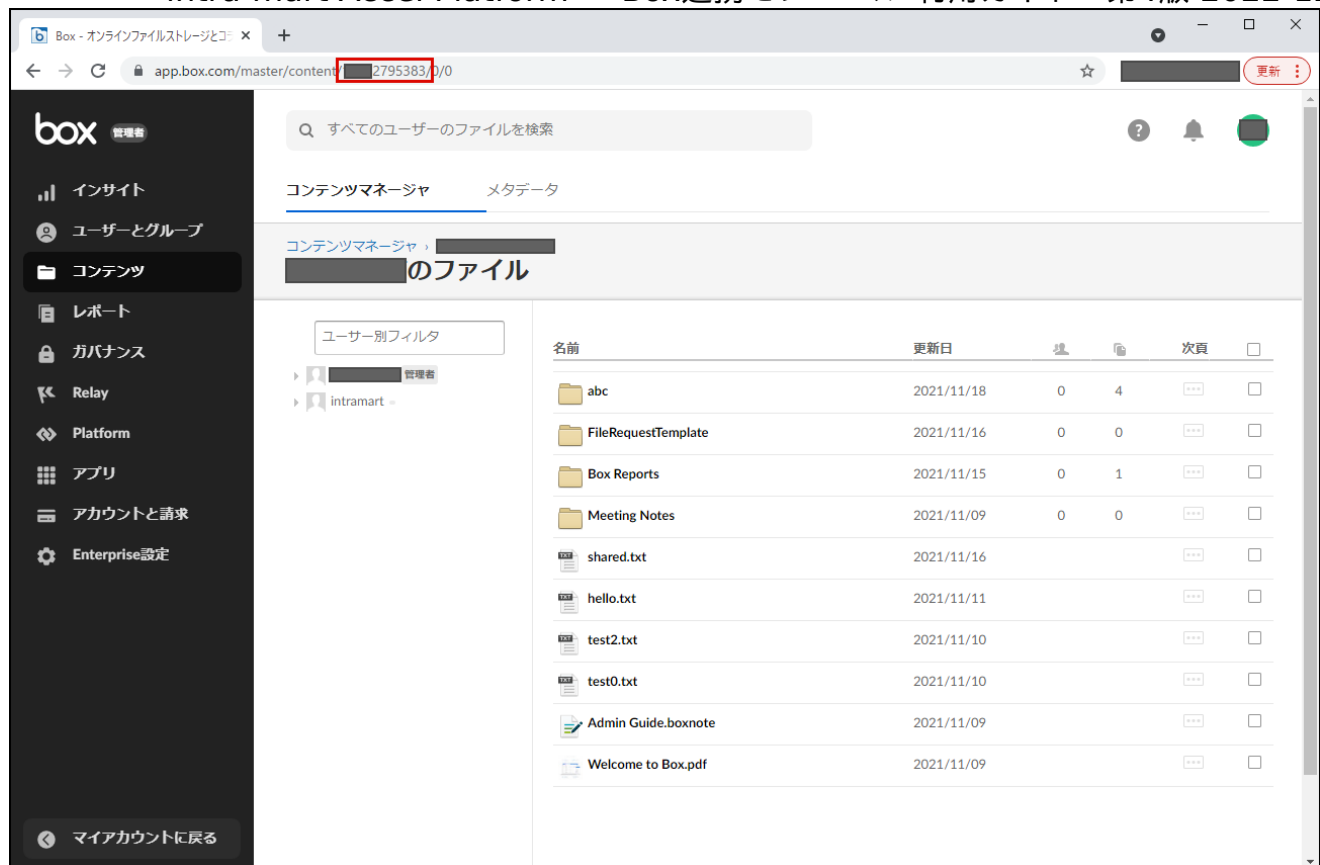
Box連携 IM-LogicDesignerタスクを利用する際には、接続先のBoxユーザのIDが必要です。

BoxユーザのIDは、対象のユーザでBoxにログインした後、右上メニュー→「アカウント設定」→「アカウント」タブ→「アカウントの詳細」→「アカウントID」より確認可能です。



図：「アカウント設定」画面の「アカウントID」

または、管理者でBoxにログインし、「管理コンソール」→「コンテンツ」→「コンテンツマネージャ」にて一覧から対象のユーザをクリックした際、URLアドレスの content/ 以降に表示されています。



図：「コンテンツマネージャ」画面のURLアドレス

項目

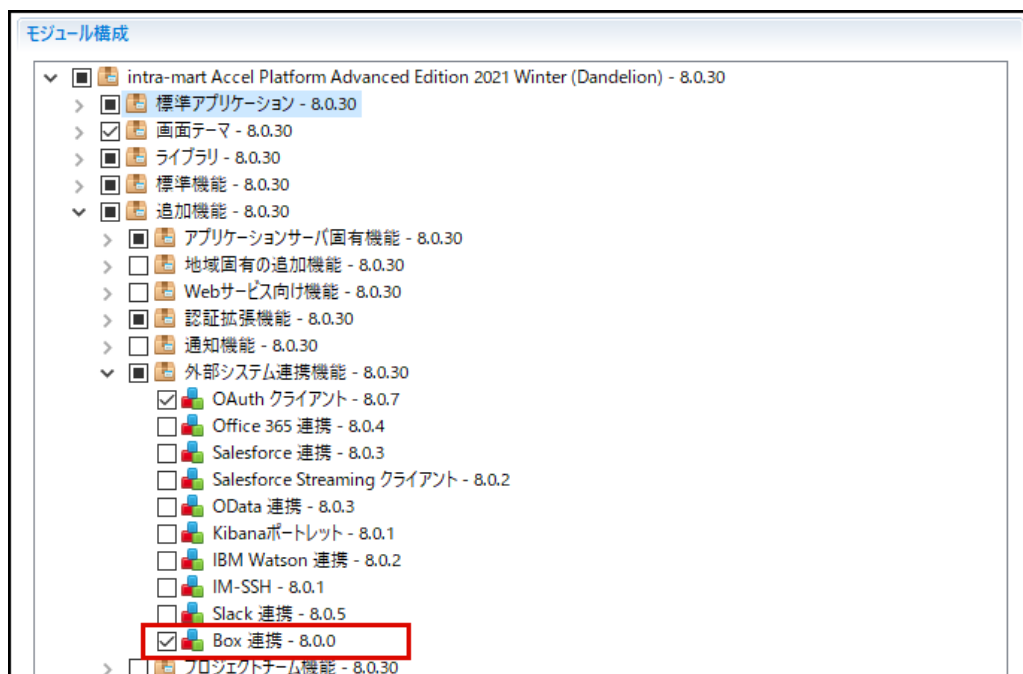
- モジュールの追加
- 設定ファイルのアップロード
- BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング
- BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ
 - セットアップ方法
 - ジョブ実行方法

ここでは Box連携 のインストールと設定手順のうち、intra-mart Accel Platform にて行う事項を説明します。
インストールと設定は、IM-Juggling、および、設定ファイルアップロード画面にて行います。
以下の手順を行うことで Box連携 を intra-mart Accel Platform 上で利用できます。

モジュールの追加

Box連携 を利用するため、追加機能より「Box 連携」モジュールを選択し WARファイルを作成します。

1. [追加機能 - 外部システム連携機能 - Box 連携]モジュールを選択します。



図：「IM-Juggling モジュール構成」画面

2. その他、任意の設定を行い、WARファイルを作成します。

設定ファイルのアップロード

Box 開発者コンソールからダウンロードした設定ファイルを intra-mart Accel Platform にアップロードし、登録します。
登録した設定ファイルは、Box への接続時の認証に用いられます。

1. テナント管理者でログインし、「サイトマップ」→「Box」→「Box連携設定」をクリックし、「設定ファイルアップロード」画面を開きます。



図：「設定ファイルアップロード」画面

2. 「設定ファイル」に、[Box管理者コンソール](#)からダウンロードした<config.json> ファイルを指定します。
3. 「アップロード」ボタンをクリックします。

BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング

Boxユーザに対応するiAPユーザが存在する場合、intra-mart Accel Platform にBoxユーザIDを登録しておくことができます。BoxユーザIDを登録したiAPユーザは、[ユーザ切り替えタスク](#)において、BoxユーザIDを直接指定する代わりにユーザコードを指定できます。BoxユーザIDの確認方法については、[BoxユーザIDの確認](#)を参照してください。

intra-mart Accel Platform にBoxユーザIDを登録する方法は、以下の通りです。

1. 対象のユーザでintra-mart Accel Platform へログインし、サイトマップより「個人設定」 - 「プロフィール」をクリックします。
2. ツールバーの「外部システムユーザ識別子設定」をクリックします。

図：「プロフィール」画面

- 外部システム名が「Box」の行の「ユーザ識別子」に連携先のBoxユーザIDを貼り付けて「変更」ボタンをクリックします。

図：「外部システムユーザ識別子設定」画面

BoxユーザIDとiAPユーザの一括マッピングジョブ

intra-mart Accel Platform 2022 Winter(Freesia) 以降では、連携先のBoxに存在するユーザのIDを、intra-mart Accel Platform に一括登録

する機能を利用できます。

この機能は、ジョブ・ジョブネットにて提供しています。

紐づけには、Boxユーザのメールアドレスと、iAPのユーザプロフィールに設定された「メールアドレス1」の値を利用します。

本機能では、上記メールアドレスが同一であるユーザの「外部システムユーザ識別子」に対して、BoxユーザIDを自動で一括登録します。

本機能は、intra-mart Accel Platform 2022 Winter(Freesia) 以降でテナント環境セットアップを行うことで、ジョブネット管理画面から実行できます。

i コラム

連携先Boxのユーザのメールアドレスとユーザプロフィールの「メールアドレス1」が等しいユーザに対して既に「外部システムユーザ識別子」が登録されている場合は、本ジョブの実行によって上書きされます。

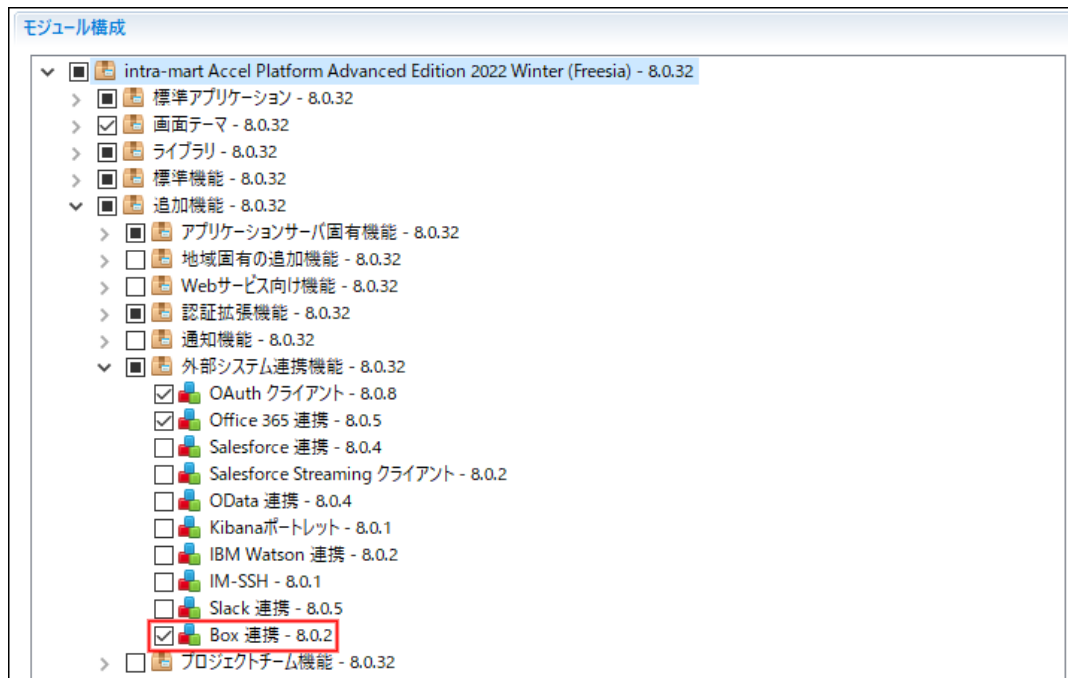
また、以下のiAPユーザには影響を与えません。

- ユーザプロフィールの「メールアドレス1」が空欄であるユーザ
- 「メールアドレス1」に設定されたメールアドレスが連携先Boxに登録されていないユーザ

対象ユーザは、ジョブ実行時点で有効なユーザのみです。

セットアップ方法

1. 追加機能より「Box 連携」モジュールを選択し WARファイルを作成します。このとき、「Box 連携」のバージョンが8.0.2以降であることを確認します。



図：「IM-Juggling モジュール構成」画面

2. WARファイルのデプロイ後、テナント環境セットアップを実行することにより、ジョブ・ジョブネットがインポートされます。
3. Boxユーザと紐づけたいiAPユーザに対し、共通マスタ画面より、プロフィールの「メールアドレス1」を設定します。

設定するメールアドレスは、紐づけの対象とするBoxユーザのメールアドレスと同じものとしてください。

現在のロケール: 日本語

性別: ☒ 男性 ☐ 女性 ☐ その他 ☐ 回答しない

ユーザ名 *

フリガナ

国コード

郵便番号

住所 1

住所 2

住所 3

電話番号

内線番号

FAX番号

内線FAX番号

携帯電話番号

メールアドレス1

メールアドレス2

携帯メールアドレス

URL

備考

ソートキー *

図：「ユーザ詳細」画面 - 「プロフィール」タブ

ジョブ実行方法

1. テナント管理者でログインします。
2. ジョブネット管理画面を開き、[ジョブネット一覧 - IM-Box - Boxユーザー一括連携]を選択します。

ジョブネット管理

カテゴリ新規作成 ジョブネット新規作成 ジョブ管理 ジョブネットモニター

ジョブネット一覧

- IM-BIS
- IM-Box
 - Boxユーザー一括連携
- IM-ContentsSearch クローラ
- IM-FormDesigner
- IM-BPM
- IM-FileExchange
- ジョブ管理
- IM共通マスタ
- IM-Workflow
- 多要素認証機能
- テナントマスタ

ジョブネット情報

基本情報

ジョブネットカテゴリ: IM-Box

ジョブネットID: box-external-system-user-mapping-job

ジョブネット名

日本語	Boxユーザー一括連携
英語	Box User Batch Linkage
中国語 (中国)	Box用户批量对接

ジョブネットの説明

実行時の情報

並列実行: ☒ 並列実行を許可する

実行ジョブ

ジョブID	ジョブ名
box-external-system-user-mapping-job	Boxユーザー一括連携

実行パラメータ

パラメータリスト

図：「ジョブネット管理」画面

3. 即時実行ボタンをクリックします。

項目

- 概要
- 各タスクの説明
 - ユーザ切り替えタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - Boxストレージ取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルをロックタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルをアンロックタスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ作成タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ更新タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - メタデータ削除タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク作成タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - 共有リンク削除タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト取得タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエストコピータスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト更新タスク
 - 入力値
 - 出力値
 - ファイルリクエスト削除タスク
 - 入力値
 - 出力値

概要

Box連携 IM-LogicDesignerタスクには、大きく分けて以下の3種類のタスクが存在します。

- ユーザ切り替えタスク
接続先の Boxユーザを切り替えるタスクです。ロジックフローに必ず配置する必要があります。
- Boxストレージ取得タスク
Box上のファイル操作を行う際には、このタスクが返却する仮想的なストレージを通して行います。
- その他のタスク
ファイルのロック・アンロックなど、ストレージを介さない操作のためのタスク群です。

Box上のファイル・フォルダを操作するロジックフローを作成する際には、他のBox連携 IM-LogicDesignerタスクよりも前に、ユーザ切り替えタスクを必ず配置してください。

i コラム

IM-LogicDesignerタスクの入力値としてBoxのファイル・フォルダのパスを指定する際には、ルートフォルダからの絶対パスを指定してください。

例えば以下の図のように **abc** フォルダ内に存在する **test1.txt** を指定する際には、**"abc/test1.txt"** と指定してください。



各タスクの説明

ユーザ切り替えタスク

接続先のBoxユーザを指定するタスクです。

このタスク以降に配置したBox連携 IM-LogicDesignerタスクによる操作は、このタスクで指定したユーザとして行われます。必ず他のBox連携 IM-LogicDesignerタスクより前に配置してください。

接続先のBoxユーザを指定するには、以下の2通りの入力値のいずれかを利用します。

- BoxユーザID
接続先のBoxユーザのIDを直接指定する方法です。
BoxユーザIDの確認方法については、[BoxユーザIDの確認](#)を参照してください。
- ユーザコード
外部システムユーザ識別子としてBoxユーザのIDを登録済であるユーザの、ユーザコードを指定する方法です。
外部システムユーザ識別子の登録方法については、[BoxユーザIDとiAPユーザのマッピング](#)を参照してください。

入力値

```
im_boxAsUser <object>
├─ boxUserId <string>
└─ userCd <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxAsUser	任意	object	なし	-
boxUserId	任意 (userCdと 択一)	string	なし	BoxユーザID
userCd	任意 (boxUserId と択一)	string	なし	ユーザコード

出力値

im_boxAsUser <any>

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxAsUser	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

Boxストレージ取得タスク

Box上のファイル・フォルダに相当する仮想的なストレージを取得します。

取得したBoxストレージは、ストレージ操作タスクと組み合わせることにより任意の操作を行うことが可能です。

例えば、ストレージ出力タスクを利用してBox上のファイルに書き込みを行ったり、ストレージファイル読み込みタスクを利用してBox上のファイルを読みこむことができます。

入力値

im_boxGetBoxStorage <string>

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetBoxStorage	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの、Boxのルートフォルダからの絶対パス

出力値

im_boxGetBoxStorage <storage>

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetBoxStorage	storage	なし	取得したBoxストレージ

ファイルをロックタスク

指定したファイルをロックするタスクです。

入力値

```
im_boxLockFile <object>
├─ path <string>
├─ expiresAt <string>
└─ isDownloadPrevented <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxLockFile	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイルの絶対パス
expiresAt	任意	string	なし	有効期限日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
isDownloadPrevented	任意	boolean	なし	ロックがダウンロードも禁止するか

出力値

```
im_boxLockFile <object>
├─ createdAt <string>
├─ createdBy <string>
├─ expiresAt <string>
├─ id <string>
├─ isDownloadPrevented <boolean>
└─ type <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxLockFile	object	なし	-
createdAt	string	なし	作成日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
createdBy	string	なし	ロックの作成者
expiresAt	string	なし	有効期限日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
id	string	なし	ロックID
isDownloadPrevented	boolean	なし	ロックがダウンロードも禁止しているか
type	string	なし	ロックのタイプ

ファイルをアンロックタスク

指定したファイルのロックを解除するタスクです。

入力値

```
im_boxUnlockFile <object>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUnlockFile	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイルの絶対パス

出力値

```
im_boxUnlockFile <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxUnlockFile	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

メタデータ取得タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetMetadata <object>
├─ templateName <string>
├─ scope <string>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetMetadata	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxGetMetadata <map>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetMetadata	map	なし	メタデータのキー/値のマッピング。

メタデータ作成タスク

指定したファイル・フォルダにメタデータを作成するタスクです。

入力値

```
im_boxCreateMetadata <object>
├ metadata <map>
├ templateName <string>
├ scope <string>
└ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateMetadata	任意	object	なし	-
metadata	必須	map	なし	メタデータのキー/値のマッピング。
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxCreateMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。



コラム

作成したメタデータはカスタムメタデータとして扱われます。
メタデータのキーの文字列には、**/** を含むことができません。
また、メタデータの値はstring、または、いずれかの数値型のみが利用されます。

メタデータ更新タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを更新するタスクです。
新しいメタデータの中に、古いメタデータと同一のキーのものがある場合は上書きします。
それ以外については新しいメタデータと古いメタデータを両方保持します。

入力値

```
im_boxUpdateMetadata <object>
├ metadata <map>
├ templateName <string>
├ scope <string>
└ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateMetadata	任意	object	なし	-
metadata	必須	map	なし	メタデータのキー/値のマッピング。
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxUpdateMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。



コラム

作成したメタデータはカスタムメタデータとして扱われます。
メタデータのキーの文字列には、`/` を含むことができません。
また、メタデータの値はstring、または、いずれかの数値型のみが利用されます。

メタデータ削除タスク

指定したファイル・フォルダのメタデータを削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteMetadata <object>
├─ templateName <string>
├─ scope <string>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteMetadata	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
templateName	任意	string	なし	メタデータテンプレート名
scope	任意	string	なし	メタデータテンプレートのスコープ

出力値

```
im_boxDeleteMetadata <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteMetadata	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

共有リンク取得タスク

指定したファイル・フォルダの共有リンクを取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetSharedLink <object>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetSharedLink	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス

出力値

im_boxGetSharedLink <string>

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetSharedLink	string	なし	共有リンクのURL

共有リンク作成タスク

指定したファイル・フォルダの共有リンクを作成するタスクです。

入力値

```
im_boxCreateSharedLink <object>
├ access <string>
├ canDownload <boolean>
├ canPreview <boolean>
├ path <string>
└ unsharedDate <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateSharedLink	任意	object	なし	-
access	任意	string	なし	共有リンクのアクセス権限。以下のいずれかの文字列を指定してください。 指定しない場合は DEFAULT が用いられます。 OPEN リンクを知っているすべての人 COLLABORATORS 協働者内 COMPANY 会社内 DEFAULT ユーザ、または、エンタープライズの設定に従う
canDownload	任意	boolean	なし	ダウンロードを許可する場合は true 、禁止する場合は false
canPreview	任意	boolean	なし	プレビューを許可する場合は true 、禁止する場合は false
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス
unsharedDate	任意	string	なし	共有期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）

出力値

im_boxCreateSharedLink <string>

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCreateSharedLink	string	なし	共有リンクのURL



コラム

共有リンクが既に存在するファイル・フォルダを指定した場合、共有リンクの情報は上書きされます。

accessに対して、**COLLABORATORS** を指定した場合、または、共有リンクが既に「招待されたユーザのみ」を対象として作成済みという状態において **DEFAULT** を指定した場合、同時にcanDownload、および、canPreviewの指定はできません。これらの場合、指定しても無効です。

2022年8月現在、canPreviewを指定しても、Boxサーバ側では常に **true** として扱われます。

指定したファイル・フォルダの共有リンクを削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteSharedLink <object>
└─ path <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteSharedLink	任意	object	なし	-
path	必須	string	なし	操作対象のファイル・フォルダの絶対パス

出力値

```
im_boxDeleteSharedLink <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteSharedLink	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

ファイルリクエスト取得タスク

指定したファイルリクエストの情報を取得するタスクです。

入力値

```
im_boxGetFileRequestInfo <object>
└─ id <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxGetFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	取得対象のファイルリクエストのID

出力値

```
im_boxGetFileRequestInfo <object>
├─ baseUrl <string>
├─ createdAt <string>
├─ createdBy <string>
├─ description <string>
├─ etag <string>
├─ expiresAt <string>
├─ folder <string>
├─ id <string>
├─ isDescriptionRequired <boolean>
├─ isEmailRequired <boolean>
├─ path <string>
├─ resource <string>
├─ status <string>
├─ title <string>
├─ type <string>
├─ updatedAt <string>
├─ updatedBy <string>
└─ url <string>
```

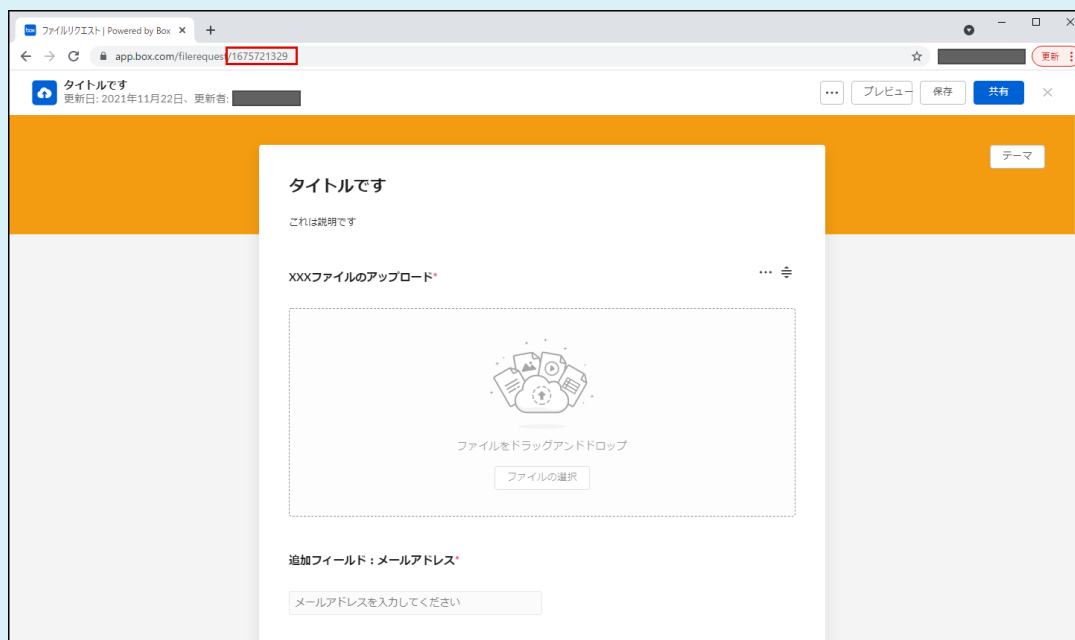
項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxGetFileRequestInfo	object	なし	-

項目名	型	配列/リスト	説明
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
createdBy	string	なし	作成者名
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づくリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE 、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストのタイプを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL

i コラム

ファイルリクエスト取得タスクの実行に必要なファイルリクエストIDは、Boxにログインしてファイルリクエストの編集画面にアクセスした際のURLに含まれています。

例えば以下のファイルリクエスト編集画面であれば、ファイルリクエストIDは **1675721329** です。



ファイルリクエストコピータスク

指定したファイルリクエストの情報をテンプレートとし、それを指定した別のフォルダにコピーして新しいファイルリクエストを作るタスクです。

新しいファイルリクエストには、入力値に指定した情報がテンプレートを上書きして適用されます。

入力値

```

im_boxCopyFileRequestInfo <object>
├ id <string>
├ info <object>
│ ├── description <string>
│ ├── etag <string>
│ ├── expiresAt <string>
│ ├── isDescriptionRequired <boolean>
│ ├── isEmailRequired <boolean>
│ ├── status <string>
│ ├── title <string>
│ └ type <string>
└ path <string>

```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	コピー元となるファイルリクエストのID
info	任意	object	なし	-
description	任意	string	なし	説明
etag	任意	string	なし	ETag文字列
expiresAt	任意	string	なし	有効期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
isDescriptionRequired	任意	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	任意	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
status	任意	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE 、そうでない場合は INACTIVE
title	任意	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	任意	string	なし	タイプ
path	必須	string	なし	ファイルリクエストのコピー先のフォルダパス

出力値

```

im_boxCopyFileRequestInfo <object>
├ baseUrl <string>
├ createdAt <string>
├ createdBy <string>
├ description <string>
├ etag <string>
├ expiresAt <string>
├ folder <string>
├ id <string>
├ isDescriptionRequired <boolean>
├ isEmailRequired <boolean>
├ path <string>
├ resource <string>
├ status <string>
├ title <string>
├ type <string>
├ updatedAt <string>
├ updatedBy <string>
└ url <string>

```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileRequestInfo	object	なし	-
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
createdBy	string	なし	作成者名

項目名	型	配列/リスト	説明
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づくリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE 、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL

コラム

ファイルリクエストコピータスクの出力値は、コピー元となったファイルリクエストの情報です。
新しく作成したファイルリクエストの情報ではありません。

ファイルリクエスト更新タスク

指定したファイルリクエストの情報を、入力値に指定した情報で更新するタスクです。

入力値

```
im_boxUpdateFileRequestInfo <object>
├ id <string>
└ info <object>
  ├── description <string>
  ├── etag <string>
  ├── expiresAt <string>
  ├── isDescriptionRequired <boolean>
  ├── isEmailRequired <boolean>
  ├── status <string>
  ├── title <string>
  └ type <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxUpdateFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	更新の対象とするファイルリクエストのID
info	任意	object	なし	-
description	任意	string	なし	説明
etag	任意	string	なし	ETag文字列
expiresAt	任意	string	なし	有効期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
isDescriptionRequired	任意	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	任意	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
status	任意	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE 、そうでない場合は INACTIVE
title	任意	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	任意	string	なし	タイプ

出力値

```
im_boxUpdateFileRequestInfo <object>
├ baseUrl <string>
├ createdAt <string>
├ createdBy <string>
├ description <string>
├ etag <string>
├ expiresAt <string>
├ folder <string>
├ id <string>
├ isDescriptionRequired <boolean>
├ isEmailRequired <boolean>
├ path <string>
├ resource <string>
├ status <string>
├ title <string>
├ type <string>
├ updatedAt <string>
├ updatedBy <string>
└ url <string>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxCopyFileRequestInfo	object	なし	-
baseUrl	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL
createdAt	string	なし	作成日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
createdBy	string	なし	作成者名
description	string	なし	説明
etag	string	なし	ETag文字列
expiresAt	string	なし	有効期限の日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
folder	string	なし	フォルダ名
id	string	なし	ファイルリクエストのID
isDescriptionRequired	boolean	なし	説明の入力が必要な場合は true
isEmailRequired	boolean	なし	メールアドレスの入力が必要な場合は true
path	string	なし	ファイルリクエストURLのベースURL以降のパス
resource	string	なし	紐づくリソース名
status	string	なし	ファイルリクエストが有効な場合は ACTIVE 、そうでない場合は INACTIVE
title	string	なし	ファイルリクエストのタイトル
type	string	なし	ファイルリクエストを意味する文字列
updatedAt	string	なし	更新日時（ISO8601形式の日付フォーマット）
updatedBy	string	なし	更新者名
url	string	なし	ファイルリクエストURL

ファイルリクエスト削除タスク

指定したファイルリクエストの情報を削除するタスクです。

入力値

```
im_boxDeleteFileRequestInfo <object>
└ id <string>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteFileRequestInfo	任意	object	なし	-
id	必須	string	なし	削除の対象とするファイルリクエストのID

出力値

```
im_boxDeleteFileRequestInfo <any>
```

項目名	型	配列/リスト	説明
im_boxDeleteFileRequestInfo	object	なし	出力値として利用可能な値はありません。

intra-mart は株式会社エヌ・ティ・ティ・データイントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Box は、Box (Box, Inc.) のオンラインストレージサービスです。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上